

水戸市議会報

No.166 平成16年1月15日号
2003年12月定例会
発行 水戸市議会

編集 水戸市議会報編集委員会 水戸市中央1-4-1 029(224)1111 内線578

本年も市民の信託にこたえ
市政発展に努めます

須高佐加五波玉田江渡村田栗小川高
田橋藤藤嵐多造中尻辺田口原坏崎崎
浩 光光 昭順真加政正米文和篤
和靖雄子博治一己那明勝蔵隆男之進

迎春

福松高須友村袴小内伊田田雨中岩野藤
島本橋能部田塚崎藤藤山口谷庭水村田
(議席順)辰勝丈昭 進孝常丈充知文精次昌眞精
三久夫一明洋雄則男朗子明一男子実治



市議会議員
33名



正副議長新年のあいさつ

輝かしい平成十六年の新春を迎え、謹んで市民の皆様のご多幸とご繁栄をお祈り申し上げます。
昨年五月に就任して以来、温かいご支援ご協力をいただき、心からお礼を申し上げます。



副議長
渡辺政明



議長
小坏和男

申し上げます。
さて、今日の社会経済情勢は、景気の低迷など先行き不透明感を増し、地方自治体におきましては、避けて通ることの出来ない諸問題が山積するなど、大変厳しい状況にあります。
今年も、市民の信託に因應する議会として、市民福祉の向上を目指し活動してまいりたいと存じますので宜しくお願いいたします。
本年も市民の皆様方の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

幼・小・中 英会話 教育特区 申請へ



義公(光圀公)生誕の地(三の丸2丁目)

光圀公は、庶民が深刻な給水難に苦しんでいるのを知り、笠原水道を敷設。(保健センター付近)



水戸藩第2代藩主徳川光圀公像(千波湖畔)
大日本史の編纂に着手し、多くの改革に取り組むなど、名君と仰がれた人物。

議会報では、本号より市内にある彫刻像を通じて、人物や歴史等を紹介してまいります。

平成十五年第四回市議会定例会の概要

本会議一日目(十二月四日)

議長の開会宣告後、会期の決定、諸報告が行われた後、決算特別委員会に付託され、議院会中の継続審査となっていた認定第二号(平成十四年度水戸市一般会計及び特別会計決算認定について)の審査結果について、野村眞実委員長から報告が行われました。

中庭次男議員の反対討論の後、採決の結果、委員長報告のとおり認定しました。その後、今定例会に提出された議案十四件について、市長から提案理由の説明が行われました。

本会議二日目(十二月九日)

市政全般や提案された議案などに対し、七名の議員が代表質問を行いました。

本会議三日目(十二月十日)

十名の議員が一般質問を行いました。

本会議四日目(十二月十一日)

十日に引き続き、六名の議員が一般質問を行った後、議案十四件と請願一件陳情二件を所管の常任委員会へ付託しました。

常任委員会(十二月十一・十五日)

二日間開かれ、議案等の審査を行いました。

本会議五日目(十二月十七日)

最終日の十七日は、各常任委員長から審査の経過並びに結果

の報告が行われ、田中真己議員の反対討論の後、いずれも原案を可決しました。

次に、追加提案の人事案件について次のとおり同意しました。

水戸市固定資産評価審査委員会委員

細田 絃 市

人権擁護委員候補者

杉下 弘 之

この後、議員提案の水戸市議会情報公開条例の一部を改正する条例を上程し、原案を可決しました。

次に、請願陳情の二件について取下げを承認した後、各委員長から請願、陳情の審査の経過並びに結果の報告が行われ、採決の結果、委員長報告のとおり決定しました。

この後、議員提案の意見書二件を可決しました。

最後に、閉会中所管事務調査の件を承認し閉会しました。



架け替え工事が完了した仲ノ橋

市長説明要旨

平成十五年第四回水戸市議会定例会に提出された議案に関して加藤市長は、「議案第百三十三号町の区域の変更について、議案第百四号 町及び字の区域の変更については、赤塚駅南口土地区画整理事業の施行及び飛地の解消を図ることに伴い、町及び字の区域の一部を変更する必要が生じたため、地方自治法の規定に基づき提案するものであります。議案第百五号 水戸市個別外部監査契約に基づく監査に関する条例については、監査機能の充実強化と行政の信頼性の向上を図るため、個別外部監査制度について規定の整備を行うものであります。議案第百六号 水戸市法定外公共物管理条例については、地方分権一括法に基づき国から譲りを受ける法定外公共物についての管理規定を制定するものであります。議案第百七号 水戸市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例については、土砂等による土地の埋立て等について、土壌の汚染及び土砂の流出等による生活環境の保全と災害の防止を図るため必要な規制を設けるものであります。議案第百九号 水戸市立保育所設置条例の一部を改正する条例については、若宮保育所



赤塚駅南口

の増改築に伴い、関係規定の整備を行うものであります。議案第百十四号 工事請負契約の締結については、国補公共下水道汚水中継ポンプ場土木・建築工事について、請負人の決定を見たものであります。」等の説明をしました。

平成十五年第二回市議会臨時会の概要

平成十五年第二回水戸市議会臨時会を十一月十七日に開催し、議案第九十三号 水戸市職員給与に関する条例等の一部を改正する条例(国家公務員の給与と改定に準じて、職員等の給与と改定の措置を講じるもの)ほか、関連の予算の補正に関する議案九件、報告第四十二号 専決処分についてほか四件の計十五件の議案等を可決、承認しました。

可決した主な議案

議案第百五号 水戸市個別外部監査契約に基づく監査に関する条例

議案第百六号 水戸市法定外公共物管理条例

議案第百七号 水戸市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例

議案第百九号 水戸市立保育所設置条例の一部を改正する条例

議案第百十号 水戸市建築基準条例の一部を改正する条例

議案第百十一号 水戸市児童遊園条例の一部を改正する条例

議案第百十三号 市道路線の認定、廃止及び変更について

議案第百十五号 平成十五年水戸市一般会計補正予算(第十二号)

訂正とお詫び

平成十五年十一月一日発行の水戸市議会報第百六十五号において、誤った記述がございましたので、次のとおり訂正してお詫び申し上げます。

七ページ二段目の後ろから四行目及び九ページ四段目の写真左横一行目

(誤)「放置自転車撤去条例」
(正)「放置自動車撤去条例」

代表質問

葵政友会

- ・広域行政推進のための部署創設等について
- ・五水総策定の先送りとなる充実について
- ・財政難中の次年度予算編成の観点について
- ・特区指定等中心市街地の活性化策について
- ・行政主導でない行財政改革の推進について
- ・国立病院の跡地活用と救急体制について
- ・合併処理浄化槽補助拡大等水環境について

公明党水戸市議会

- ・第五次総合計画の基本方針について
- ・観光都市水戸の再生方針について
- ・下水道行政整備手法について
- ・市営住宅居住環境の整備について
- ・高齢者安心条例の制定について
- ・社会教育と公民館のあり方の検証について
- ・基礎学力の向上施策について

日本共産党

- ・自衛隊のイラク派兵に市長が反対の表明を
- ・第五次総合計画はくらし福祉教育の充実を
- ・内原町との合併反対水戸市の財政負担問題
- ・新行財政改革大綱、予算編成方針について
- ・水戸駅南口開発 公団の定期借地ビル計画
- ・水戸メガモール計画と商業影響調査の内容
- ・元石川町への残土搬入に市が反対すること

新政会

- ・本年度予算について
- ・次年度予算について
- ・財政諸問題について
- ・第五次総合計画について
- ・市町村合併について
- ・行政改革について

豊かで活力にあふれたまちづくり

- ・県庁舎周辺地区整備計画について
- ・ゴミ有料化の諸問題について
- ・道路管理整備の一元化について
- ・農産物特産品づくりについて
- ・市民の健康づくりについて
- ・あけぼの学園の老朽化に伴う整備について

弘道会

- ・英語教育への本市の取り組みについて
- ・特区制度を生かした英語教育の充実を
- ・職員モチベーションを高める人事行政
- ・第二清掃工場建設問題について
- ・小吹清掃工場について
- ・ごみ処理広域化計画について
- ・アミューズメント空間と市街地活性化策

県都市民クラブ

- ・市長の政治姿勢(予算・合併)について
- ・職員定数等行財政改革について
- ・自警団への市の助成策について
- ・合併浄化槽の推進等下水道行政について
- ・商工行政について
- ・保健福祉行政について
- ・第三次救急医療等消防行政について

水政会

- ・市長の五十万都市構想と公約について
- ・第五次総合計画について
- ・平成十六年度予算の重点施策について
- ・土砂の埋立て規制条例について
- ・地域防災について
- ・植物公園の運営状況と再整備について
- ・桜の郷整備に関連した本市の対応について

葵政友会

野村眞実

特区指定等中心市街地の活性化策について

問 駅前から大工町の間を横道を含む中心市街地をまちづくり特区に指定し、駐車可能帯やイベント広場に活用、商店街の一階部分は商業スペースとして利用に限定し、銀杏坂は商店街へのアプローチとして車道部分も活用し整備しては、借地状態にある駅前の黄門神社を含む付近を名所旧跡として買収し、観光案内や物産館等を設置し、水戸の観光の玄関口として歴史ロードにつなげ整備しては、奈良屋町周辺などの坂道は風情を残した形で、旧市内の裏通りは回遊散策できる町並みとして整備しては、専門家を導入し、個々の店主の抱えている課題の整理を行い面としての個性化を図る。また元気な黒羽根町と中心地に残る協同病院のために、宮町駐車場は夜間開放し支援しては、中心市街地の拠点を設定した同時開催のイベントを創設しては、商店街の空き店舗を臨時的な公共スペースとして位置づけ固定資産税を減免し、開業支援やNPO等に開放しては、

加藤市長 それぞれ提案を踏ま

え、検討したい。

行政主導でない行財政改革の推進について

問 行政経験のない民間人のアイデアと、やる気のある職員の提案を活用しては、外郭まで含めた職員定数を抜本的に見直し、事業時限定の併任等を行うべきでは、サッカー・ラグビーのためのツインフィールドは芝の養生等に年間四千万円も要しながら、稼働率は平均で週二回という実情。この際、人工芝へ全面改修すべきでは、市の建築積算単価は高上がりなので、設計段階や積算段階での更なる工夫と抜本的見直しをすべきでは、工事請負や物品購入等で担当各課の努力で生み出した財源は、担当部に裁量権を委ねるようルール化するべきでは、

加藤市長 それぞれ提案を踏まえ、検討したい。



人口芝への全面改修を検討すべきでは(ツインフィールド)

代表質問

代表質問

公明党水戸市議会

加藤光子

下水道行政
整備手法について

問 し尿を収集している世帯数はどのくらいあるのか。し尿処理はクリーンセンターで浄化されるが、生活排水は垂れ流し状態のまま放置されており、環境悪化が懸念され早急な対応が望まれる。公共下水道や農業集落排水の未整備地区において、水環境保全のために、浄化槽市町村整備推進事業を導入し、合併処理浄化槽設置を推進することにより短期間に生活排水の適正処理を進めてはどうか。

加藤市長 し尿の収集を必要としている世帯は、事業所を含め約一万件の登録がある。浄化槽市町村整備推進事業は、比較的人口が散在した地域におい



農業集落排水事業による水環境保全が行われている(加倉井地区)

て効率的な整備手法として、環境省で推進している。当該事業については、新行財政改革大綱実施計画(案)において実施項目として上げている汚水処理手法の見直しの中で、十分に調査、検討を進めていきたい。

市営住宅居住環境の整備について

問 本市の市営住宅は半世紀にわたって建設しており、この間の建築基準法の改正や平均的居住設備の水準向上により、設備面で大きな差が生じている。古い市営住宅入居者の居住改善要望に対し、どのように対応されるのか。住宅の居住環境面で、新たに室内におけるホルムアルデヒド等の科学物質濃度に対し規制が導入されている。この建築基準法の改正への対応はどうか。

加藤市長 老朽化した住宅のうち、現在建替えが可能な住宅については、現在の生活様式に対応すべく、年次的建替えにより居住環境の改善を進めている。建替えのため現在設計中の住宅において法改正の趣旨を踏まえた対応を取っており、また、本年完成した住宅においても、ホルムアルデヒド等の居室空气中の濃度を測定し、安全を確認した後の入居となっている。

日本共産党

田中真己

第五次総合計画はくらし
福祉教育の充実を

問 五十万都市構想は、市民の意向にも反し合併推進による市民サービスの低下と財政悪化を招くもので、将来の本市のまちづくりには大きな障害をもたらすものと考えます。第五次総合計画から削除することを求めるがどうか。また、重点施策については一万人のアンケート結果を尊重し、大型開発の中止、くらし・福祉・教育分野の充実を求めるがどうか。さらに全小学校区で説明会、市民の要望を聞く会の実施を求めるがどうか。

加藤市長 第五次総合計画は権限の拡大と財政基盤の確立を目指す五十万都市構想の視点に立ち、将来の本市を展望した計画として策定したい。また、重点的な施策については、市民の意向を十分に反映しながら、「元気で活力にあふれ、人が生き生きと交流するまちづくり」など五つの都市づくりの目標に沿って、基本計画の中に位置づけていく。今後は、地域における懇談会を充実して開催するなど、市民参加をさらに進めながら計画を策定していきたい。



内原駅北土地区画整理事業予定地

内原町との合併反対
(水戸市の財政負担問題)

問 内原町との合併について、合併特例債は本市の新たな借金となる。そこで、合併設計画の財政規模を伺いたい。また、三十年後までの財政シミュレーションを示すことを求める。合併は自治体の存立の問題であり、住民投票の実施を求める。内原駅北土地区画整理事業で計画している大型店は中心市街地活性化に反すると考えるがどうか。

加藤市長 財源の見込みを十分に精査したうえで十年間の財政設計画を示していきたい。合併協議会にて審議し、協議が整った後両議会に諮る必要がある。この過程で民意は十分反映するものと考えており、住民投票の実施は考えてない。事業主体が内原町のため、合併協議会における合併設計画の協議を尊重していきたい。

新政会

高橋 靖

財政諸問題について

問 現在、国や地方が厳しい財政状況にあり、国及び地方の長期債務残高が七百兆円にも膨れ上がってしまっている。このような状況の中、国からの補助事業についても、費用対効果を十分に考察し、現場の実情を捉えて取捨選択するなど、地方から財政改革を求めることが必要と考えるが、見解を伺いたい。

加藤市長 本市においては、これまで街路、公園、下水道などを中心に補助事業を実施してきたが、いずれも市民生活に密接に関連したものであると考えている。今後とも市民の視点を判断の基軸として、真に必要な事業を厳選した上で実施していきたいと考えているので、理解願いたい。

あけぼの学園の老朽化に伴う整備について

問 水戸市重症心身障害児(者)通園施設あけぼの学園は、築後二十七年が経過する中で、老朽化が著しく全体に亀裂が見られるなど危険な状態であり、現代

的な福祉施設としての設備や機能が整っていないのが現状である。緊急的な改修をしていくべきであり、中長期的には移転または全面改修を含めた方針を、第五次総合計画に位置づけて対応していくべきと強く求めるが、見解を伺いたい。

加藤市長 あけぼの学園は、常時介護を必要とする在宅の重症心身障害児(者)がともに集い社会性を身につけることを目的に、本市が設置した通園施設である。園舎は老朽化が目立ち始め、通園する障害児(者)の安全確保など、管理運営上支障を来すほか、静養室、医務室、食堂などの独立した部屋がないことから、適切な個別指導や生活指導に限界が生じているところである。したがって、施設改築については、老朽化を解消するとともに、通園者の処遇向上を図るため第五次総合計画に位置づけていきたいと考えている。



あけぼの学園の施設・設備改修を求める

弘道会

村田進洋

英語教育への本市の取り組みについて

問 本市は、他市町村に先駆けて、平成元年から全中学校に英語指導助手を配置してきたが、幼稚園及び小学校へも英語指導助手を派遣し、英語教育を充実させるよう十数年一貫して訴えてきた。教育と文化に熱情を注ぐという本市の歴史的特性を停滞させることなく、特区制度への参画に名乗りを上げたその行動力に期待する。このことは、真の国際人として活躍する有為な人材を育てていく取り組みではないかと思うが、見解を伺いたい。

加藤市長 規制の特例措置は、「水戸市幼・小・中英会話教育特区」の名称で、十六年一月の第四次受付で申請し、十六年度より幼稚園、小学校の研究開発校において研究を開始し、十八年度を目途に全小学校に拡大していく。中学校卒業時には、初歩的な英語を用いて外国人と日常の会話ができる英語力を身に付け、国際社会に対応できる次代を担う人材を育成することを目指していきたい。



気象に関係なくショッピングなど楽しめるアーケード

アミューズメント空間と市街地活性化策

問 全国で繁華街といわれる街には特徴があり、安全で明るく、食べ物がいしく安い、そして楽しい。そんな夢のある繁華街が商店街の活性化に関連があると思う。本市においてもアーケードを建設し、どのような気象状況でも将来五十万都市構想の中で、人々が集まり、ショッピングができ、食べる、楽しめる特色ある街づくりを考えなければと思うが、見解を伺いたい。

加藤市長 市街地の中では現在水戸駅南口、泉町、大工町地区において商業、文化の核を形成する再開発事業を進めている。この中には、楽しみの空間や飲食、物販などさまざまな施設が導入される。また、南町の裏通りの雰囲気の利用や、古い建物を利用し、これらの施設と楽しみながら回遊できるネットワークづくりを図っていきたい。

県都市民クラブ

袴塚孝雄

商工行政について

問 大型商業施設の立地に伴う商業等影響調査について、これまでの計画や調査との関連、メガモールとの関係等について伺いたい。中心市街地を通る国道五〇号に対して本市による一車線化の調査があったが、その意図するところは何か。大工町地区の再開発については認可から時間が経ち厳しい状況と聞いているがどのような状況か。

加藤市長 本調査は、水戸市商圏内における消費動向や大型店の現状、大型店が立地した場合の市内商業及び経済・雇用等への影響予測を行う新たな調査であり、今後の商業振興策に活用していく。車道や歩道の有効活用策としての特区構想について、現在、その対象となるか検討しているところである。事業成立性の観点から特に慎重に検証作業を進め今日に至っているが、事業実現は中心市街地の活性化に大きな効果をもたらす重要な事業と認識しており、市としても財政状況は厳しいものの、引き続き事業促進のために必要な支援を行っていきたい。

保健福祉行政について

問 高額不妊治療の助成に対して国の動向はどうなっているのか。国に先駆けて少子対策の一環として、不妊治療に対し積極的に支援してはどうか。国立水戸病院の移転が目前に迫っているが、第三次救急医療体制はどうなっているのか。

加藤市長 厚生労働省の平成十六年度の概算要求の中に不妊治療の経済的支援が盛り込まれている。国の助成内容を検討した上で本市として対応していきたい。国立水戸病院移転後の市民の安全安心の確保を図るため、公的医療機関である水戸済生会総合病院について、より高度な医療体制が図れる救命救急センター、すなわち第三次救急医療機関としての指定に向け、国及び県など関係機関へ積極的な働きかけをしていきたい。



不妊治療に対し積極的支援を

代表質問 決算概要報告

水政会

雨谷精一

植物公園の運営状況と再整備について

問 植物公園は開園から十六年が経過して施設の老朽化が目立...

小田木産業経済部長 平成十四年度は年間約四十回の展示会...

桜の郷整備に関連した本市の対応について

問 国立水戸病院の移転を核として、県が茨城町大戸地区にお...

ても交通体系の整備を再検討する必要がある、公共交通による...

加藤市長 整備スケジュールについては、核となる国立水戸病院が十六年秋頃に開院予定とな...



桜の郷事業の核となる建設中の国立水戸病院

決算特別委員会の概要報告

第三回定例会において決算特別委員会(委員長野村真実、副委員長江尻加那)に付託された...

【一般会計について】

歳入について

ア. 市債の借りかえ、繰上償還の計画的な実施により、金利負担の縮減に努力された。

イ. 市税の減免については、法の趣旨に基づく厳格かつ適正な運用が必要であることから、十分な現地調査を実施したうえで、制度適用の適否を検討された。

ウ. 税の公平・公正の原則に基づいた適正な収納方を講じるとともに、引き続き滞納者の債権の確保に努められた。

歳出について

ア. 交際費の支出及びタクシー等の自動車借り上げについては、基準を明確にするなど、より適正な運用に努められた。

イ. 高齢者等在宅生活支援配食サービス事業の実施に当たっては、対象者の健康状態に留意するなど、利用者の要望に応じたサービスの提供を検討された。

ウ. 婦人相談、児童相談業務については、相談員の研修機会の確保を図るなど、多様化する相談内容に的確に対応できる体制づくりを推進された。

エ. 中心市街地活性化事業や商業活性化事業における商店会等への助成制度については、対象者の事業内容の把握に努めるとともに、費用対効果を考慮した補助金の支出に努められた。

オ. 金谷地区農村下水道事業については、地元管理組合等の意見の聴取に努め、他の農業集落排水事業との均衡を保つよう努められた。

カ. 市営住宅家賃等の使用料については、受益者負担の原則から、公平・公正な徴収に努めるとともに、各種制度の活用を図るなど、滞納額の縮減を図られた。

キ. 総合教育研究所の役割を強化するとともに、教職員の研修などにより、不登校対策の充実、強化を図られた。

ク. 小中学校施設の耐震診断調査については、計画的な実施を図り、児童、生徒の安全対策に万全を期された。



総合教育研究所の役割強化を

【特別会計について】

下水道事業会計について 下水道工事等の設計に当たっては、合理的な工法を選定するとともに、随意契約による追加工事を抑制するなど、効率的な事業運営に努められた。

市民会館事業会計については 施設の維持管理に当たっては、使用者側の要望に沿った計画的な修繕を行われた。

なお、全般的な事項として、「委託料については、随意契約のもので前年同額となっているものが多く見受けられるが、業務内容や契約方法の見直しを検討するなど、支出額の抑制に努められた」、「今後とも厳しい行財政環境が見込まれることから、職員個々の質の向上を図り、安易な民間委託を行わないなど、歳出の抑制を図りたい」等の意見が出されました。

一般質問

一般質問項目一覧

福島 辰三

・地方分権について

・幼稚園に日本初の英語教育保育所も同等に
構造改革特区について

江尻 加那

・多胎児の育児支援等保健福祉行政について

・就学前の子供の医療費無料化を求めて
紀州堀緑地の階段に手すり等の安全対策を

栗原 文隆

・幹線市道十号線の道路改良工事について

・元石川地区への残土搬入計画について
・計画概要と行政の指導方針について

田口 米蔵

・旧東部浄化センター跡地利用促進について

・上大野小学校の改築、図書室の整備計画
・大場公民館施設まわりの地盤沈下について

・職員の通勤許可時の任意保険確認について
・農業集落排水事業の整備計画について

・地域水田農業ビジョンの策定について

小松崎 常則

・森戸、下入野地区の拠点開発について

・区画整理事業の推進と下水道事業の特例
・アグリメイトいきいき農業体験事業について

中庭 次男

・赤塚姫子線など住民無視の道路建設中止を

・障害者支援費制度充実のため予算の増額を

・開発行為にあたっては事前に住民説明会を
・ごみ有料化や幼稚園バス廃止計画の撤回を

・国保税の値上げを実施しないこと

・市営住宅家賃減免制度の積極的活用を

玉造 順一

・人権行政について

・職場におけるメンタルヘルス確保について
・福祉行政について

・市街地活性化について

須田 浩和

・防犯灯の補助金等の見直しについて

・市役所駐車場の有効利用について
・消防施設整備計画について

佐藤 光雄

・平成十六年度予算編成について

・民間委託化計画・市役所内施設整備
・少子対策の行動計画について

・学校週五日制・学習指導要領について

川崎 篤之

・次世代育成・雇用政策に独自の取り組みを

・特区活用のために市民政策コンペの実現を
・行政改革は強い推進力で進化管理を

田山 知賀子

・総合窓口の設置等総務行政について

・男女平等参画行政について

・介護保険導入後三年経過しての諸課題について

・道路事業評価システムの導入について

村田 正勝

・ゆとり教育の評価について

・談合情報への対応について

・中心市街地のまちづくり特区について

五十嵐 博

・投票所整備と違法ポスターについて

・福祉行政について

・市民行政について

高崎 進

・若年層も含めた就職相談窓口設置について

・小中学校における環境教育について

岩清水 昌子

・小中学校における職業教育の実施について

・市政への多様な市民参加制度で参加促進を
・路上生活者への緊急の自立支援対策を

・市長・助役などの給料・退職金の削減を
・T・T教員を配置し三十人学級の早期実現を

・旧日本軍の毒ガス兵器埋設の調査・対策を

波多 昭治

・財務行政について

・総務行政について
・都市計画行政について

・広域行政について

・土木行政について

・農業行政について

・鉛製給水管の取替えについて
・下水道行政について

幼稚園に日本初の
英語教育保育所も同等に

福島辰三 本定例会の提案理由で、市長は英語教育を幼稚園、小中学校で英会話を実施する、構造改革英語特区の考え方を示した。特に教育特区の英語教育に幼稚園を入れたのは全国で初めてであり大賛成である。しかし、保育所が入っていない。幼児からの英語は、学ばは「まねする」が基本。文法、英字を書くことでなく、スピーチで日常語化した英語、歌を毎日耳で聞くことが大切と思うがどうか。

吉田教育長 将来国際社会に活躍できる人材を育成することを目的として、幼小中英会話教育特区を、十六年一月の第四次受付で申請 十六年度幼稚園 十八年度を目途に、段階的に全校に拡大。今後、小学校にも段階的に英語指導助手を配置する、私立、公立保育所へも派遣していく。



幼児から英語教育の実施を

就学前の子供の

医療費無料化を求めて

江尻加那 医療費助成はこれから子供を産もうという親や子育て中の家庭にとって経済的負担の軽減だけでなく、気持ちの面からも安心につながる。特に乳幼児の場合、病気の早期発見・早期治療を可能にし、子育ての安心保障制度として大きな力になっている。そこで、現在は二歳までの医療費無料化を、対象年齢を拡大し、小学校入学前まで実施することを求めるがどうか。また、所得制限を撤廃してはどうか伺いたい。

小川保健福祉部長 対象年齢を年次的に引き上げ、最終的に就学前の児童にまで拡大することについては、所得制限の廃止も含め単市事業としての実施となるため、現下の厳しい財政状況の中で更なる財政負担等の問題があることから難しい面があり、今後の課題としていきたい。



安心した子育ての実現を

四倉建設部長 平成四年度に路線測量に着手し、現在、用地測量を完了し用地取得に一部着手している。この路線の整備においては、水路の受益者との協議等に時間を要していたが、関係者の理解がおおむね得られたことから、引き続き、地元及び地権者の方々の理解と協力を得ながら用地の取得を進め、早期の工事着手に向け、積極的に事業を進めていきたいと考えている。

幹線市道十号線の道路改良工事について



早急な整備が望まれる幹線市道10号線(吉沢元石川線)

栗原文隆 幹線市道十号線吉沢元石川線は、本市南東部における重要幹線市道であるが、特に六号国道吉沢地区から北関東自動車道までの間は、道路幅も狭く簡易舗装も壊れている状態である。地元住民は一刻も早い整備を待ち望んでおり、早急な整備が必要であると考えているが、この道路改良事業の進捗状況と今後の見通しについて伺いたい。

上大野小学校の改築、図書室の整備計画

田口米蔵 昭和四十二年に建築した上大野小学校の校舎は、老朽化が著しい上に、教室の不足により、以前から図書室については、リースによるプレハブ校舎を使用している。近年、そのプレハブ校舎も破損がひどい状況となっている。今後の図書室の整備及び校舎全体の整備計画について見解を伺いたい。



老朽化が進むプレハブ図書室の整備を

吉田教育長 上大野小学校の改築計画については、施設、設備が老朽化していることから、第五次総合計画に位置づけし、国庫補助制度を活用しながら、より快適で安全な学校施設の整備に努めていきたい。また、プレハブ校舎の図書室については、老朽化が進んできたため、校舎の改築事業までの間、児童の学校生活に支障がないよう、予算の確保に努め、良好な教育環境の整備を図っていきたい。

一般質問

森戸、下入野地区の拠点開発について



都市計画道路元吉田元石川線の延伸を

小松崎常則 拠点開発地区百四ヘクタールの実施計画について具体的な検討をしたのか。砂利採取跡地に大洗、旭、水戸環境衛生組合と本市のゴミ処理最終処分場を整備してはどうか。都市計画道路元吉田元石川線は、拠点開発を支える上でも積極的に延伸すべきと考えるがどうか。第二斎場を下入野森戸地区に建設してはどうか。遠西市民環境部長 地区全体を総合的に開発することは難しいが、公共施設を整備する際の一つの候補地として検討していきたい。環境衛生組合の次期最終処分場は常澄地区に選定することに妥当性があり、水戸地区分と併せて検討していきたい。今後の需要、財政面など総合的な視点から検討していく。

片山都市計画部長 開発動向を見きわめ、検討していきたい。

赤塚姫子線など住民無視の道路建設中止を

中庭次男 赤塚駅周辺の三本の都市計画道路建設計画については、これまでも住民から強い反対が繰り返して表明されてきた。この道路建設は関係地権者の生活破壊にもつながるものであり、都市計画決定は中止し、再度住民の声を聞くべきと考えるがどうか。また、幅員十七メートルの道路建設は車や歩行者の通行量から必要のないものであると考えるが、見解を伺いたい。

片山都市計画部長 これらの路線については、住宅市街地の良好な住環境を確保するためにも必要であるとされており、引き続き地元の理解をいただけるよう努めていきたい。また幅員は、バリアフリーに対応した歩行者及び自転車等の安全かつ円滑な通行を、将来にわたって確保できる歩道整備を図るためには必要な規模と考えている。



都市計画道路計画予定地内(姫子1・2丁目)

職場におけるメンタルヘルス
確保について

玉造順一 現在、働く人を取り巻く環境は大きく変化をし、雇用不安や労働負荷の増加、人間関係の問題などを含めた職業性ストレスは増加しているが、中小零細企業にとっては資力的な問題もあり、メンタルヘルス対策が困難な状況である。そこで、勤労者福祉サービスセンターを核に、勤労者を広く対象としてメンタルヘルス確保に関する施策を行うべきと考えるがどうか。小田木産業経済部長 一部福利厚生事業として、財団法人水戸市勤労者福祉サービスセンターにおいて給付事業、余暇活動を実施しており、メンタルヘルスについては、関係機関の紹介等により勤労者及び事業主の健康管理に寄与しているところである。今後とも、職場に活気と明るさをもたらす福利厚生事業を展開していきたい。



勤労者の福利厚生を行う勤労者福祉サービスセンター



市役所駐車場の有料開放を

市役所駐車場の
有効利用について

須田浩和 前回の議会でも質問したが、市役所駐車場の満車状態が駅南地区の渋滞の大きな要因の一つと考える。そこで、二・三階建ての駐車場を建設すれば、渋滞の解消、それによる経済効果、さらに地域の活性化につながると考えるがどうか。また有料開放することによって、建設費が捻出できると考えるがどうか。平戸財務部長 市役所駐車場は市民会館の大ホール等の使用時は満車状態となり、周辺の交通渋滞を招き来庁者に不便を与えている。この解消策として、二層化による駐車スペースの増設、またこの有効利用を図るための有料化による開放、さらに駐車場北側の出入り口設置等については、新たな行財政改革大綱の実施項目として、市役所駐車場の有効活用」を計画しており、この中で十分に検討していく。

民間委託化計画・
市役所内施設整備

佐藤光雄 民間委託化計画について、これまでの取り組みと今後の進め方について伺いたい。今日の高齢化の進展や子育て環境の変化などに対応した市役所の施設整備が求められているが、一階トイレの洋式化や授乳ルームの設置について伺いたい。猿田総務部長 既に委託化を実施している事務事業もあるが、一部においてはスケジュールに遅れが出ているものもある。今後は一層の民間活力の活用を視点に、一層の行財政運営の効率化と市民サービスの向上に努めていきたいと考えている。



環境の変化に対応した市役所整備が望まれる

平戸財務部長 市民生活の洋風化が浸透していることを考慮に入れ、一部便器の洋式化が必要であると考えている。また、授乳ルームについても、乳幼児を連れた母親の便宜を考え、設置の必要性を認識している。



職業紹介が行われている水戸公共職業安定所

次世代育成・雇用政策に
独自の取り組みを

川崎篤之 十五年六月十三日に成立した職業安定法の改正法は遅くとも十六年三月には施行される流れとなっている。ポインタは、地方自治体が無料の職業紹介事業を行うことを認めたものであり、地方自治体の創意工夫と責任を強く求めている。本市としてもより積極的に諮問機関を設け集中的に議論を行い、マスタープランの策定を急ぐほか、必要な予算づけ等を行っていく必要があると考えるが、その方針について伺いたい。小田木産業経済部長 市独自の雇用政策については、改正職業安定法が十五年六月に公布され、これまで国の固有業務とされていた無料職業紹介業務が、国に届出を行うことにより、自治体でも可能となることから、今後とも、課題などの整理に努め、研究していきたい。

総合窓口の設置等
総務行政について

田山知賀子 窓口業務を一元化し総合窓口を設置してはどうか。複数の課にまたがる電話の問い合わせに対し、電話を受けた時点である程度の対応が出来るよう委託等を活用したインフォメーションサービスを導入してはどうか。職員胸章を写真、フルネームの大きなものに変更してはどうか伺いたい。猿田総務部長 総合窓口については物理的に困難であり、窓口カウンターの改造等を図る中で併せてその可能性について検討したい。電話対応時に幅広い知識が必要となるため、情報が容易に取得できるよう庁内ネットワークの機能を高めるなど、電子市役所の推進に併せて検討したい。市民に対して責任の所在を明確にすることに資するよう、今後胸章の仕様等について早期に検討していきたい。



総合窓口(ワンストップサービス)の設置を

中心市街地の
まちづくり特区について

村田正勝 現在、中心市街地の活性化について、有効な策があまりなされていないように思われる。そこで中心市街地にまちづくり特区を設けることを提唱する。歩道をオープンカフェやイベントなどに容易に使用させたり、車道片側一車線を駐車可能にさせるなど、ここを特区として道路交通法の規制を緩和することで、中心市街地の魅力を創出し、活性化を図るなど奮起を促す助力を考えてはどうか。

小田木産業経済部長 本市の中心市街地は、近年における様々な要因により空洞化が進行し、本市としても、活性化に向けた各種事業を展開しているところであるが、御提案の国道五〇号車道及び歩道の有効活用策としての特区構想については、現在、その対象とすべく検討しているところである。



中心市街地にまちづくり特区の創設を求める



選挙では市内65か所に投票所が設置される

投票所整備と
違法ポスターについて

五十嵐博 選挙の投票所に対し車椅子利用の方などからバリアフリー化への要望があるが、現在の投票所の状況、今後の対応について伺いたい。狭い歩道に張つてある違法選挙ポスターは、子供や高齢者、車椅子の人などにとって大変歩きにくく迷惑になっている。そこで、こうした違法ポスターに対しての本市の対応策について伺いたい。

加藤選挙管理委員会事務局長 高齢者や身体に支障がある方が投票しやすいよう、簡易スロープの設置や人的扶助により対応しているが、今後とも、選挙人の要望等により簡易スロープの設置等について対応していきたい。各選挙事務所に対して撤去の指導を行ってきたが、今後とも茨城県選挙管理委員会や警察との連携を図り、強く指導していきたいと考えている。

小中学校における
環境教育について

高崎進 現在小中学校の総合学習の時間において環境体験学習を行っていること認識しているが、今後、環境教育の一層の充実のため、児童生徒の環境体験学習カリキュラム等の充実と、環境体験活動をふやすり取り組みについて伺いたい。

吉田教育長 本市では、身近な環境を守り、美しい清潔なまちをつくるために、毎年小中学校一斉に「清潔なまちづくり運動」を展開している。また、サケの卵の孵化に取り組んだり、千波湖や大塚池の水の汚れ調査や生物の調査をするなど、各学校が工夫して体験活動を取り入れながら環境学習に取り組んでいる。今後、地域の実態を踏まえて、体験活動の充実を図り、身近な環境に関心を深め、環境の保全や改善に尽くしていくような児童生徒の育成に努めていきたい。



環境体験学習「知りたいな大塚池の自然」(上中妻小)

一般質問

ＴＴ教員を配置し三十人
学級の早期実現を



30人学級の実現を求める

岩清水昌子 少人数学級が全国的に広がっている。少人数学級は、児童を十分把握し、一人一人に応じた対応や工夫した授業を行い、子供たちに明らかな変化が生まれている。本市の子供の健やかな成長と発達を第一に考え、三十人学級を実施する方針をもち、県に強く働きかけること、また各学校の加配教員をクラス担任に配置し、不足する教員を本市が雇用し、三十人学級の実現を求めるがどうか。

吉田教育長 県では、三十五人学級に向けて、小学一・二年生を対象に、学級編成の弾力化とチームティーチングを組み合わせた少人数教育を導入しているが、小中学校の学級編成に係る基準は、都道府県教育委員会が定めることになっているので、今後三十五人学級の拡充について県へ要望していきたい。

鉛製給水管の
取替えについて

波多昭治 現在まで、配水管や老朽管布設管工事等において、鉛製給水管の取替えが進められているが、この取替えも計量器まで、後は個人負担となっている。鉛製給水管の存在は行政側の責任があり、安全で、おいしい水を、安定的に供給する責任を考えると、アスベスト管の時のように十年、十五年計画で行政の責任と負担で取替えるべきと思うが見解を伺いたい。

綿引水道部長 鉛製給水管の取替えについては、本年度からメータの先まで取替え範囲を拡大し、鉛製給水管の解消に努めるとともに、指定給水装置工事業者を通じて、家の増改築の際に取替えを行っているところである。また、宅地内の鉛製給水管については、明年度からメータの取替え時に合わせ、市施工により解消に努めていきたい。



鉛製給水管の取替え工事が進められる

常任委員会の審査状況

十二月十二日・十五日に常任委員会が開催され、議案等の審査を行いました。主な概要については次のとおりです。

都市建設委員会

児童遊園条例の一部改正等について論議

議案第百一十一号 水戸市児童遊園条例の一部を改正する条例については、公園の種類、所有権の移転時期、施設の設置基準、条例の提出時期等について、種々質疑応答を重ねた後、委員から、「児童遊園の遊具の設置及び管理については、利用する児童等の安全確保に万全を期されたい」等の意見が出されました。

議案第百十四号 国補公共下水道浜田汚水中継ポンプ場土木・建築工事請負契約の締結については、汚水中継ポンプ場建設に伴い工事請負契約を締結するものでありますが、種々質疑応答を重ねた後、本案に関連して委員から、「特に談合防止の観点から、入札業者が提出した工事内訳書の精査を十分に行われたい」等の意見が出されました。

この後、付託議案五件を採決

の結果、全会一致をもって、原案を可決すべきものと決定しました。



見和1丁目桜台第1児童遊園

産業水道委員会

商業等影響調査は今後の施策に生かせる調査に

議案第百十五号 平成十五年水戸市一般会計補正予算（第十二号）中産業水道委員会所管分については、大型商業施設の立地が地域経済や市民生活に与える影響等を調査するための経費について補正措置を講じるものであります。業者の選定方法、各項目の調査方法及び調査範囲、本市商圏内における消費性向の現状把握調査の具体的内容、これまでの商業調査等について、種々質疑応答を重ねた後、委員から、「これまであまり調査

されることのなかった消費者側の意向調査を重点的に行うなど、今後の施策に生かせる中身のある調査をされたい」、「多数の大型店の進出に伴い中心市街地の地盤低下が懸念されるため、中心市街地の活性化に有効な調査をされたい」等の意見が出されました。この後、採決の結果、全会一致をもって、原案を可決すべきものと決定しました。



中心市街地の活性化に有効な調査を

文教福祉委員会

生活保護給付費の算定基準等について論議

議案第百九号 水戸市立保育所設置条例の一部を改正する条例については、種々質疑応答を重ねた後、委員から、「新園舎建設により生活環境の変化が伴うことから、その使用に当たっては、保護者及び園児等に十分な説明をされ、さらなる配慮に

努められたい」との意見が出されました。この後、採決の結果、全会一致をもって、原案を可決すべきものと決定しました。

議案第百十五号 平成十五年水戸市一般会計補正予算（第十二号）中文教福祉委員会所管分については、第三款民生費で、生活保護給付費の算定基準等について種々質疑応答を重ねた後、委員から、「扶助費の増大は大きな課題となっていることから、さらなる就労指導や雇用創出を図ることにより抑制に努められたい」等の意見が出されました。この後、採決の結果、全会一致をもって、原案を可決すべきものと決定しました。



建設中の若宮保育所

総務環境委員会

土砂等による土地の埋め立て等の規制に関する条例等で論議

議案第百六号 水戸市法定外

公共物管理条例については、県と市の条例による法定外公共物の占用料等の差とその調整方法等について、種々質疑応答を重ねた後、採決の結果、全会一致をもって、原案を可決すべきものと決定しました。

議案第百七号 水戸市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例については、適用範囲の基準が土地の区域の面積となっている理由、土壌調査の時期と方法、土採取事業規制条例との関係等について、種々質疑応答を重ねた後、採決の結果、次の意見を付し、全会一致をもって、原案を可決すべきものと決定しました。

意見

土砂等の持ち込みの際には、有害物質が埋め立てられる危険が予想されるため、申請の書類の内容を十分に精査した上で許可を与え、土壌調査を厳密に行うなど、慎重な事業管理を期されたい。



水路等法定外公共物は平成16年度から市で管理



水戸の新たな玄関口として整備された水戸駅南口

請 願 ・ 陳 情 の 結 果

採択

1. 性同一性障害を持つ人々に対するの証明書、申請書の性別欄の撤廃を求める陳情
本陳情については、願意に沿うよう努力されたい。
2. 遺伝子組み換え作物の作付に対するガイドライン策定を茨城県に要望する請願
本請願については、願意を了とし採択する。

可 決 し た 意 見 書

今定例会では2件の意見書が可決されました。

1. 現況下における自衛隊のイラク派遣について慎重な対応を求める意見書
2. 遺伝子組み換え作物の作付に対するガイドライン策定に関する意見書

請 願 ・ 陳 情 の 提 出 に つ い て

市の行政等についてお困りの問題がある場合、市民の皆さんの声を反映させるための一つの方法として、請願・陳情の制度が設けられています。
請願・陳情者はどなたでもよく、年齢、性別、その他の制限はありませんが、提出できる事項は一般に市で行うことのできる事項とされています。
請願・陳情の提出方法、取り扱いなど詳しいことは、議会事務局へお気軽にお問い合わせ下さい。
(内線五七七)

議 会 日 誌

9月25日	水戸市都市構造調査特別委員会
29日	決算特別委員会 議会報編集委員会 大洗、旭、水戸環境衛生組合議会
10月8日	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業水道委員会 都市建設委員会 全員協議会
14日	決算特別委員会
20日	議会報編集委員会 水戸地方農業共済事務組合議会
21日	決算特別委員会
22日	文教福祉委員会
11月4日	水戸市都市構造調査特別委員会
7日	決算特別委員会
10日	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業水道委員会 都市建設委員会 議会運営委員会
17日	第二回水戸市議会臨時会
18日	決算特別委員会 水戸市都市構造調査特別委員会
25日	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業水道委員会

3月9日	本議会	18日~19日	常任委員会
10日~14日	議案調査	23日	議案調査
15日~17日	本議会(代表質問)(議案一般質問)	24日	議会運営委員会(全議員協議会)
問い合わせ先 議会事務局		224-1111 内線578	



新たに整備された逆川緑地

26日
都市建設委員会
代表者会議
議会運営委員会

編 集 委 員 会

委員長	田中 真己
副委員長	高崎 進
委員	川崎 篤之
	小畑 和男
	栗原 文隆
	田口 米蔵
	村田 正勝
	渡辺 政明
	江尻 加那
	玉造 順一
	五十嵐 博
	藤田 精治
	野村 眞実
	小松崎 常則
	福島 辰三

〔江尻 加那 記〕
〔田中 真己 記〕

編 集 後 記

今定例会期中、市役所一階ロビーで「アフガニスタンの母子」と題した写真展が、ポスト日本女性会議二〇〇一みとの主催で開かれました。
戦禍で破壊された瓦礫の中で暮らす子供たち、石のように地雷が転がる郊外の風景、「母子のための診療所」で双子の赤ちゃんの誕生を見守る医師たちの顔が印象的でした。
今、イラクに自衛隊が派兵されようとしています。子供たちの未来のために日本が何をすべきか、写真の中の瞳が問いかけているようでした。